

シリーズ 豊前市 SDGs vol.1 私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める、最初の第一歩。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs ってなんだろう？

最近、メディアや街で見かけることが多くなったキーワード『SDGs（エスディーゼズ）』。皆さん、この言葉どういう意味かご存知ですか？SDGs（エスディーゼズ）とは『Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）』を略した言い方で、2015年に国連で採択された2030年までの達成を目指す17の国際目標です。そして更に具体化した169のターゲット（具体目標）があります。SDGsは世界が抱える貧困や飢餓、環境から人権など

経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組み、“誰一人取り残さない持続可能な社会”の実現に向けて、すべての人がそれぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。これだけでは「SDGsは難しい！」というイメージを持ってしまうかと思いますが、これを自分ゴトに置き換えると、次のように言い換えることができます。

「**私たち自身の生活の中や世界が抱えている問題を解決していくために掲げられた目標**」それがSDGsです。

SDGsを学ぼう。

考えたことを意識しながら生活していくことが、地域や社会が抱える問題を解決する大きな一歩になります。

SDGsの目標を達成するには国や市や企業だけでなく、私たち個人の取組も重要です。個人ができる取組として、節水・節電を心掛けること、マイバックやマイボトルを活用することなどがあります。私たち一人一人がSDGsの各ゴールの達成に向けて、考えて意識して生活していく事が、地域や社会が抱える問題を解決する大きな一歩になります。少し意識するだけで生活に取り入れられることはたくさんありますので、身近なことからSDGsを学んでいきましょう。



私たちと私たちの大切な人が

持続可能であるために

豊前市、SDGsを始めます。

日本では地方創生の更なる実現に向けて地方でのSDGsの取組みを積極的に推進しています。広報豊前12月号でご案内のとおり、11月5日、株式会社ニコン日総プライム、一般社団法人つながる地域づくり研究所と豊前市の三者で「地方創生とSDGsの推進に関する包括連携協定」を締結しました。本協定に基づき、豊前市は市民・企業・関係者の皆様とともにSDGsを学び、SDGsを推進していく基盤を作り、市民ひとりひとりが次の世代へ豊かな未来を託すことができる持続可能な地域となるため、「SDGs（持続可能な開発目標）」を実践する取組を推進していきます。

広報豊前で、SDGsに関する連載をしていきます。

“誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標であるSDGs。全部で17個あるSDGsの目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れ、これから毎月1つずつご紹介していきます。

地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。

毎月SDGsを一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国CMI認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)

